

## 井上 瑠美 (2014 年度インターン)

留学から戻ってきて、平凡な学生生活に少し物足りなさを感じていた大学4年後期、「あ、なんか募集してる」と軽い気持ちでインターンに応募したことは、私の人生において非常に大きな転機になったように思います。

2014 年後期からのインターン同期は5人、大学3年生のかわいい女の子からイケおじ様まで、それぞれ色の濃いメンバーでしたが、国際協力に熱い気持ちを持った人々の集まりで、そんなインターン生とFUNN事務局の3人+芹田さんの9人で話したことは、真剣な国際協力から日々の何気ない会話まで、楽しく刺激的なものばかりでした。

仕事については、各自にそれぞれやりたい仕事を任せていただいて、積極的に動けば動くほど、色々なことに挑戦できて、非常に成長できる環境だったと思います。特に、20周年記念事業、JICA基金事業と、大きな企画が目白押しな時期で、一人ひとりに任せられるものが多かった分、スタッフ内でいろいろ話し合っ、悩んだり、名案に喜んだり、一喜一憂しながら事業を成し遂げていく達成感を学生の身分でありながら体験できたことは、今後社会に出てからきっと役に立つと思います。

地域の国際協力推進に取り組んで21年、FUNNの活動は、派手ではありませんが、市民やNGO団体、行政、そして世界を相互に繋げる、国際協力における大きな役割を担ってきました。これは半年間のインターンシップをした後だからこそ、確信して言えることです。

半年の間、国際協力を真剣に考えている人々と出会うことができ、いろいろと影響を受けて、社会の厳しさを知って、たくさん学ぶことができました。改めてFUNN関係者の皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。私はもともと国際法を専攻していて、人権に関心がありインターンをさせて頂きましたが、国際協力関係について学びたい人、こうした活動をしている人と繋がりたい人などなど、インターンではなくボランティアとしてでも、FUNNの活動に参加してみると自分の世界が広がると思います。ぜひ一度びおとーぷへ！